



RIDERS CLUB



RS&CAFE比較試乗&
カスタム最前線
KAWASAKI
Z900RSを
極める

ステップは
踏む？踏まない？



R/Cアーカイブ
YAMAHA TZR



バンク角を稼ぎ、スポーティなポジションを実現してくれる4ポジションステップキットは6万2640円。ブラックハードアルマイト仕上げで、操作性にもこだわる



シートはノーマルを預けて表皮の張り替えとロゴ入れ加工を施す手法。写真の仕様で2万3760円となっている



車検対応のチタンフルエキは21万3840円。4.2kg (STDは11.9kg) と軽量化に仕上がる。車検対応スリップオンも用意



G-striker スイングアームはバフ仕上げ (19万9800円) とブラック (23万2200円) を用意。スタンドフック受け、ブレーキホースクランプなどはオプション



キャリパーはブレンボ。スライダーは黒 (1万6200円) と銀 (1万4040円) のベースから選べる。フェンダーレスキットは2万3760円で黒と茶のアルマイトを用意する



走っているとかなり後ろ下がりの感じで乗りやすい。Z900RSの軽さやコンパクトさがさらに引き出されている印象で、これなら市街地もガマンせずに楽しめそう。マフラーは車検対応。4・1集合のルックスにこだわりのついでにセパレートキットを装備した4・2・1集合で、エキパイは径を連続的に変更させたコンニカルヘッドを採用する。

オフセット値をノーマルと同様に設定したステムは、アップハンドルにも対応。見た目はハードだが剛性としなやかさを両立させたスイングアームはハイグリップタイヤをしっかりと許容する車体に進化していた。ノーマル+αのスポーツ性や楽しさ、Z900RSのカスタムで広がる趣味性の高さをストライカーのポルトオンカスタムが教えてくれる。



走り込んで生まれるパーツ群

元プロライダー、最近までテストオプツクバを走っていた新さんが走り込んでパーツを開発。やはりその説得力は高い。ノスタルジックな雰囲気を大切にしつつ、性能を突き詰めていく



Z900RS CUSTOM STYLE #01

Color's International

ボルトオンで楽しめるスポーツカスタム

'80~'90年代に全日本ロードレース、スーパーバイク、AMAにも参戦した新 辰朗さんが代表を務めるストライカーブランドは、カスタムで走りを目指す“セクシィ=戦闘的”な印象も強いが、新さんの仕上げたZ900RSはとても優しい

PHOTO/S.MAYUMI TEXT/T.OGAWA
取材協力/カラースインターナショナル
TEL045-949-1345 <http://www.striker.co.jp/>



G-strikerステムキットは14万5800円。オフセットはノーマル値。セパレートハンドルは構造変更して車検対応を検討中